

令和7年度 江戸川区立葛西第二中学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> 自ら進んで学ぶ生徒になろう あたたかい豊かな心の生徒になろう 健康でたくましい生徒になろう 	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	生徒が喜んで活動し、一人ひとりの確かな学力や個性、社会性を伸ばし保護者・地域から信頼される学校 本校で学ぶことに誇りをもち、主体的に粘り強く、豊かな社会性や思いやりをもった生徒 生徒一人ひとりの成長やそれを支える教育活動に最大の努力を惜しまない教師
前年度までの本校の現状	成果 <ul style="list-style-type: none"> ①教職員の情報共有を一層円滑に実践し、教育活動の多くを新型コロナ以前の状態に戻すことができた。 ②校舎改築による不安を払拭するため、目標と見通しを定めた教育活動の実践を図り、大きな混乱のない年度を終えることができた。 	課題	①本校での勤務歴が長い教員の多くが定期異動となるため、次年度の教育実践への組織的対応が求められる。 ②上記内容に準じ、各教育活動における質の維持、向上が課題である。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価（A～D）		「中間」学校関係者評価（A～D）			「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	重点に対する総括コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	「教員の学習指導力向上と生徒の学力向上」 ○全国学力・学習状況調査・江戸川区学力調査の活用	各取組みの結果分析に基づいた指導の充実と、教員の学習指導力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査における東京都の中央値以上60% 取組見直しを年度に1回以上実施 	55%		B	<ul style="list-style-type: none"> 数学52.9%、国語56.5%で未達成となった。 課題を検討し、今後の取組の見直しを行っている。 	B	頑張って指導していただいている。引き続き取組をお願いします。	自分の意見や考えを文章にまとめる取組みを継続させていただきたい。本を読む習慣を身につけさせるとともに、図書館の積極的な利用を促してほしい。	B	<ul style="list-style-type: none"> 数学、国語の未達成は次年度の課題として取り組む。 過去の問題演習を通して、指導する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 学力の伸び率はとても良い。 数学総合検定の結果を活用して、基礎的な内容をより一層定着させてほしい。 	基礎となる内容を徹底して指導していく。
	「CD層の学力向上に向けた取組み」 ○放課後補習教室 ○数学総合検定	<ul style="list-style-type: none"> 放課後補習教室の拡張事業（数学・英語）の充実 数学総合検定を活用した放課後補習教室と教員連携指導 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後補習授業の実施90回以上 数学総合検定1、2年2単元以上実施 	40%		B	<ul style="list-style-type: none"> 9月末までの回数は33回である。 数学総合検定は10月より実施する。 	B	適切に取り組んでいただいている。		B	<ul style="list-style-type: none"> 数学総合検定は計画的に実施することができた。 放課後学習教室は年度末までにほぼ計画通りの回数で実施できる見込みである。 	B	放課後学習教室の回数は減ることになるが、充実した取組となるように対応する。	
	「読書科の更なる充実」	江戸川っ子 読書科コンクールの参加と、ピブリオバトルの充実実践。	<ul style="list-style-type: none"> 各学年ピブリオバトル年間1回以上の実施 よむYOMUワークシート30回実施 	50%		A	<ul style="list-style-type: none"> ピブリオバトルは3学期実施予定 よむYOMUワークシートは前期14回は計画的に実施した。 	A	適切に取り組んでいるが、活字離れの手立てをお願いしたい。		A	ピブリオバトルとよむYOMUは計画通り実施することができた。	A	論理的思考力が育まれる取組であり、そのことが家庭学習にも生かされている。	学年ごとに実践をすることができたので、引き続き来年度もこの形式で進めていく。
体力の向上	「東京都体育健康推進校」の充実実践 ○教員の指導方法の工夫改善	「東京都体育健康推進校」（令和5・6年度）を生かした実践	<ul style="list-style-type: none"> 新体力テストにおいて各学年東京都の平均値を上回る。 	-		-	12月に新体力テストの結果が公表される。	-	適切に取り組んでいただいている。	仮設校舎であり、広い校庭がなく、運動が制限される中ではありますが、生徒たちの体力向上をお願いします。	A	男子1・3年が東京都・全国の平均を上回り、2年生が東京都の平均を上回った。女子は1年が東京都・全国の平均を上回り、3年が東京都の平均を上回った。	A	仮設校舎という環境でありながら、その中で生徒の体力向上に力を入れていただきとてもありがたい。	限られた運動スペースではあるが、最大限に活用して、生徒の体力向上を目指す。
	「生徒の体力向上」 ○運動会への充実	仮設校舎における、体力向上に向けた環境整備の実践する。	<ul style="list-style-type: none"> 屋内トランポリンの設置 ハンドグリップの設置 	100%		A	トランポリンやハンドグリップを2・3階に設置	A	適切に取り組んでいただいている。		A	各階に用具を設置することで休み時間に生徒たちに使用させることができた。	A	引き続き、体力をつけられるように校内の環境を整えていく。	
実現に向けた共生社会の推進	「合意形成と合理的配慮の充実実践」 ○組織的情報共有の充実	教員組織の生徒情報共有を活発化させ、授業ユニバーサルデザインの整備を整える。	<ul style="list-style-type: none"> 校内特別支援部会を年間30回以上実施 生活指導部会での生徒情報共有30回以上 	40%		B	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援部会9月末日までに11回実施 生活指導部会9月末日までに13回実施 	B	適切に取り組んでいただいている。	鹿本学園との取組はとても良い実践なので、今後もより良い共生社会の実現のために継続をお願いします。	A	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援部会、生活指導部会ともに30回に達成することができた。問題の早期発見、早期対応につなげることができた。 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、不登校巡回教員が参加することで、より専門的、実践的な合意形成や合理的配慮の充実を図ることができた。 鹿本学園に関しては、より一層のアナウンスを心がけていく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 専門家の意見やアドバイスを聞きながら、教職員が共通理解を図りながら生徒指導をしていることに感謝をする。今後も継続して生徒指導にあたっていただきたい。 副籍交流は昨年度と比べると取組み内容が分かりやすくなった。 拠点校だよりのさらなる充実を期待する。 	先回りができる対応をするために、職員間で情報共有を図る。
	「復籍交流の充実」	鹿本学園との間接交流の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 紙面交流年間2回以上 取組アナウンス2回以上 	50%		B	<ul style="list-style-type: none"> 紙面交流については毎月実施をしている。 校内周知取組に関しては、今後実施予定 	B	適切に取り組んでいただいている。		B	拠点校だよりの発行は計画的に実施することができた。内容に関しては、タイミングに合ったより適切なものに絞っていく。	引き続きアナウンスの充実を図る。		
	「特別支援教室のスポークスマン活動」	特別支援教室巡回拠点校としての情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 拠点校だより作成 年間3回（各学期最低1回以上） 	40%		B	9月末日までに2号発行済み	B	適切に取り組んでいただいている。		B	拠点校だよりの発行は計画的に実施することができた。内容に関しては、タイミングに合ったより適切なものに絞っていく。	その時に必要な内容となる拠点校だよりを発信する。		

不登校・いじめ対応の充実	組織的にいじめ、不登校生徒の対応実施を図っていく。	校内不登校対策委員会と校内特別支援部会の連携による未然防止、早期対応 校内いじめ対策委員による適切な実態対応	・校内特別支援部会を年間30回以上実施 ・生活指導部会での生徒情報共有30回以上	50%		A	・特別支援部会9月末日までに14回実施 ・生活指導部会9月末日までに15回実施	A	適切に取り組んでいただいている。	学生時代の不登校がきっかけで、社会に出たときに引きこもりになることが非常に多い。引き続き学校を居場所作りとして機能させてください。	B	・特別支援部会、生活指導部会においては30回を達成した。内容も適切に行い、早期発見、早期対応につなげることができた。 ・特別支援部会では、生徒の実態を把握し、適切な支援につなげることができた。その結果、いじめの未然防止にもつなげていくことができた。 ・ヤングケアラーについては、生活指導部会、特別支援部会の双方で共通認識を深め、スクールカウンセラーと連携を図り対応することができた。	B	生活指導部会や特別支援部会で先生方が生徒の状況を的確に把握しそれを全職員が共有してくれているおかげで、いじめやヤングケアラーといったことを未然に防止できていると思う。今後も引き続きお願いしたい。そして、何か力になれることがあれば、地域としても協力をしていきたい。	教育課題として取り組む。
	ヤングケアラーにたいする教職員の理解を深め、適切な実践を図る	・全員面接の実施 ・教職員に対する研修の充実 ・民生委員会との情報共有	・生徒全員面接12月までに実施 ・研修年2回以上 ・民生委員との会議1回以上	60%		A	・教員研修実施済み ・SC面談9月に実施 ・1年生生徒の動画視聴は実施済み	A	スクールカウンセラーと全員が面接実施をすることで相談しやすくなります。		A			問題の未然防止、早期発見の対応をする。	
	「未然防止のための取組（生徒の心のケア対応）」	・SC(スクールカウンセラー)による全員面接 ・本年度からのSC複数配置	全員面談実施 7月まで ・SC滞在 週2回程度	・SC面談は1学期に実施済み ・SC2人体制で実施	90%		A		A		つながりを大切にしてほしい。	A	スクールカウンセラー2人体制により、保護者及び生徒のニーズに応えることができ、大変効果的であった。	A	先生以外にも頼れる大人がいることで、子どもたちの不安や悩みを相談できる体制を今後も続けていただきたい。
学校(園)の実現 地域社会に開かれた	「土曜日の充実」 ○学校公開、道徳授業 地区公開講座、各種行事の充実	土曜授業(行事含む)の学校公開などを学校HP、TETORUでの参観呼びかける	土曜日学校公開(行事含む)年4回以上 参加状況の報告を学年だよりなどで発信	90%		A	・土曜授業2回、運動会1回の3回を実施済み。来校者数は「学校だより」で周知を行っている。	A	TETORUの配信により、情報が早く家庭に届いています。	A	・計画的な実践を行うことができた。 ・TETORUと学校HPの両輪は強いアナウンスカとして効力を確認することができた。	A	ホームページを見ると、学校の様子がとてもよく分かる。日々新しい情報が更新されており、特に保護者にとっては子どもたちの活動を見ることで安心して学校に通わせられると思う。今後も継続していただきことをお願いしたい。	ICTを活用して、情報発信を速やかに行っていく。	
	「スポーツマン活動の充実1」 学校HP・各便りの充実(教育活動の発信)	学校生活や食育に係る給食の情報など、学校生活を積極的に発信していく。	学校HPアクセス数 「目標180000」 「指標150000」	50%		B	学校HP 9月22日現在までの閲覧件数78959	B	今後も学校の様子を発信してほしい。	A	・HPのアクセスは現段階(2月4日現在)で134494のアクセスを達成することができた。	A		目標達成を継続していく。	
	「スポーツマン活動の充実2」 学校HP・各便りの充実(教育や改築に関する会議の発信)	学校関係者評価委員会、学校評議員会、PTA本部役員会の内容を広く発信していく	評議員 年3回 PTA本部役員会 年10回以上 関係者評価委員会 適宜	評議員9月までに2回実施 PTA本部役員会9月までに5回実施	60%		A		A	適切に取り組んでいただいている。	A	・PTA、評議員会ともに計画的に遂行することができた。 ・良い関係のなかで、様々な意見を交わし、健全的な運営を行うことができた。	A	PTA広報誌においても情報発信を継続していく。	
教育の展開 特色ある	葛西第二中学校で学ぶ事に誇りを持ち、向上心と自立心を持った生徒の育成	「プライド8」とし、愛校心や自己実現に向けて行動できる生徒を育成していく。	学校だより年間発行数30回以上で、「プライド8」の取組を発信していく。	50%		B	・学校だより13号発行済み ・生徒総会、運動会、生徒会役員選挙においてプライド8の取組を発信。	B	適切に取り組んでいただいている。	毎回地域の行事等で多くの中学生が手伝いに参加してくれるので大変助かっています。参加してくる生徒の成長も感じています。	A	・学校だよりは2月28日発行で27号であるため、目標値は達成できた。 ・プライド8は確実に浸透し定着してきた。	A	・仮設校舎で敷地面積も限られる中ではあるが、正門を入ったところにはいつも季節の花が色とりどりに咲いていて、環境が整備されている。きれいな花で明るく迎えられているようで、とても気持ちがいい。「花いっぱい運動」を今後も継続していただきたい。 ・学校だよりを月に2度ほどいただいで拝見している。生徒の表彰や行事での活躍を知ることができるので、いつも楽しみにしている。	プライド8に基づいて、生徒の活躍を発信する。
	オフィシャルボランティアの充実実践	・校内、校外のボランティア活動への参加を呼び掛け、参加生徒の意欲を向上させる。	・校外ボランティア(自転車盗難0・地域運動会など)への参加累計生徒人数200名以上	50%		B	・自転車盗難ゼロ53名 ・宇喜田・小島地区区民運動会22名 ・花いっぱい運動15名	B	適切に取り組んでいただいている。		A	・ボランティア協力要請に対し、適切に対応することができた。また、校内ボランティア「花いっぱい運動」も行い、多くの生徒が校内緑化、環境整備に協力した。	A		積極的にボランティアに参加する生徒を育ていく。
	情操教育の充実	・外部人材を活用し、生徒の情操教育の充実をはかる。	・「二胡演奏会」1回 ・「ミュージカル俳優によるコンサート」1回	・今後計画的に実施予定	-		-		-		良い取組で、楽しみにしています。	A	・計画的な実践が図れている。本校の特色ある教育活動の一役として、生徒の情操教育の成果とすることができた。	A	成果を来年度の運営に生かし、適切に実践する。